

指定管理者の管理運営に関する評価シート

(評価対象期間:平成31年4月～令和5年3月)

施設名	池田市立くすのき学園
市担当課	福祉部障がい福祉課(754-6255)

(1) 指定管理者

団体名	社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団
指定期間	平成31年4月～令和6年3月
管理体制	令和4年度 常勤職員 17名+事務員1名 非常勤 28名+障害者雇用1名 看護師 1名、栄養士 1名、 嘱託医師 内科 1名(年2回)、精神科 1名(月1回) 調理員 3名(業務委託)

(2) 事業内容

管理業務	障害福祉サービス事業(多機能型) 施設の管理及び必要設備の維持
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> 池田市在住の18歳以上の知的障害者が通所 平成20年10月 障害者自立支援法に移行 <令和5年度> 就労移行支援(6名)、就労継続支援B型(14名)、生活介護(40名)の三事業を多機能型として運営。定員60名 作業を通して、就労及び生活支援を実施
自主事業	<p>【基本方針】 くすのき学園は、さまざまな働くを通してひとりひとりの気持ちに寄り添いながら、本人が自己決定、自己実現できる環境を整えて支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ひとりひとりを大切に <ul style="list-style-type: none"> ・本人のやりたいこと、本人のできること、本人の望む生活を本人と考えていく ・ひとりひとりの個性や特性に着目し、いろんな可能性を追求し、アセスメントを重点に置いた支援計画を実践する ・ひとりひとりの「できる」を自信に、「できる」の積み重ねがたくさん経験できる取り組みを計画する ●「誰もが働いて工賃を得る」をモットーとし、本人の働く意欲を大切に、当たり前のことを当たり前にできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・障害があってもサポートがあればできることがたくさんある、働くことを通して喜びや生きがいを感じられる、自分の居場所や役割が見つけられる環境を整備する ●地域とのつながり <ul style="list-style-type: none"> ・一日施設の中で過ごすのではなく、風を感じながら働いて地域に貢献できる環境を整備する ・作業や外活動を通して地域住民と顔の見える関係が図れるように、挨拶を励行する ・玄関前の掲示板やイベントを通して施設のこと、障がいのある人のことを知ってもらえる仕組みを工夫し、地域との協働、連携を深める ●各事業所の目的に即し、ひとりひとりの個性を尊重し、仕事や作業をする意識付けをするとともに、スケジュールを作成し環境整備を行う ●自閉症支援勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年新入所を迎えるが、ほぼ全員が自閉症で自閉症支援の専門知識向上のために、横浜市発達障害者支援センターから専門家を招き、くすのき学園職員を中心に法人全施設職員を対象に、自閉症支援、TEACCHプログラムの研修を年3回実施している ●みんなで考えるしくみを作る <ul style="list-style-type: none"> ・日中のことはくすのきで、家庭のことは家庭で、考えるのではなく、保護者、学園、必要に応じて嘱託医や関係機関が集まり、ケース会議を定期的開催する

その他	<ul style="list-style-type: none"> ●<作業> ○受託作業 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品袋詰め、DM封入、チラシ折、ポスティング ○自主生産 <ul style="list-style-type: none"> ・うどんの製麺およびうどん屋くすのき庵の営業、さをり織り、菜園での野菜作り 無農薬野菜および果実の販売、アルミ缶回収、分別、プレス、納品 ○<実習先> <ul style="list-style-type: none"> ・うどん屋くすのき庵、池田市立五月山児童文化センター、佛日寺、公園清掃(4カ所) ●池田市委託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・有料ゴミ袋販売所 ●透明で開かれた事業所 ○ボランティアの受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・受託作業、さをり縫製、菜園、花壇の整備、園庭の草引き等に定期的に訪問あり ○実習生受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験実習、保育実習の受け入れ ○ボランティアや実習生を受け入れることで、日々の支援の振り返りや見直し、利用者支援の向上、第三者機能の強化、透明性の担保につながる ○中学生の社会体験の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・池田中学校、渋谷中学校、北豊島中学校 ●地域啓発、社会参加 ○地域や関係機関主催のイベントに積極的に出店 利用者も参加する <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながり、社会参加を意識することで人に必要とされるにつなげる ・くすのき学園や障害者の理解につながる発信を積極的に行う ●地域の社会資源としての理解と社会貢献に努め、利用者ひとりひとりが活躍できる環境を整備する ●虐待防止委員会を設置、虐待防止マニュアルを作成する。 日々の支援を振り返り、虐待の芽を摘み早期発見に努め、虐待に至らないよう支援体制を整備する。 ●BCP業務継続計画の整備 <ol style="list-style-type: none"> ①自然災害時における業務継続計画 ②新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 ●災害時避難計画の整備(池田市)
-----	--

担当課の評価 (A、B、C)	A	新築移転し、地域への配慮、交流、コロナ対応等くすのき学園への貢献と障がい者施策の一端を担っていた。
-------------------	---	---

(3)利用状況

施設	<p>令和4年度利用状況 開所日243日 全事業所延べ利用者数 10124名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"><就労移行></td> <td style="width: 10%;">2名</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">延べ利用者数</td> <td style="width: 50%;">416名</td> </tr> <tr> <td><就労継続支援B型></td> <td>14名</td> <td style="text-align: center;">延べ利用者数</td> <td>3238名</td> </tr> <tr> <td><生活介護></td> <td>32名</td> <td style="text-align: center;">延べ利用者数</td> <td>6470名</td> </tr> </table> <p>【別添年度別施設利用状況参照】</p>	<就労移行>	2名	延べ利用者数	416名	<就労継続支援B型>	14名	延べ利用者数	3238名	<生活介護>	32名	延べ利用者数	6470名
<就労移行>	2名	延べ利用者数	416名										
<就労継続支援B型>	14名	延べ利用者数	3238名										
<生活介護>	32名	延べ利用者数	6470名										
事業	【別添年度別事業実施状況参照】												

担当課の評価 (A、B、C)	A	利用者の重度化、定員増の中、職員配置と専門性向上とニーズを捉え、事業の充実を図っていた。
-------------------	---	--

(4) 市民満足度

<p>苦情等の状況</p>	<p><利用者・保護者> 連絡ノートに記載された内容(傘忘れ、衣服の補充をロッカーに入れていない等)について、ご意見として苦情受付シートに記入し、職員全体で共有し再発防止に努める</p> <p><地域、近隣住民より> ・コロナ禍で感染防止対策を実施、在宅ワーク(リモートワーク)が増えたことで、リモート会議に利用者さんの声(奇声)が入る。静かにしてほしい、と苦情の電話が2件入る。換気をするため常時窓を開けていたが、各作業室や廊下に送風機(サーキュレーター)を設置、24時間ロスナイと併せて作業室内の空気が滞留しないように工夫した。また、窓を開けての換気は30分毎5分換気に切り替えた。その5分換気時に奇声が発せられたときはすぐに窓を閉める配慮をした。 ・利用者送迎中の車両が一旦停止せずに脇道より大きな道に進入、自身はバイクに乗っていたが慌てて停車したため転倒した。けがはしていないが、大好きな池田で事故等起こしてほしくない。 ドライバーにしっかり教育してほしい、と障がい福祉課に電話が入る。 障がい福祉課より報告があり、送迎終了後にドライバーと介助員に確認。また、安全運転管理者とドライバーでドライブレコーダーで画像を確認、ご連絡いただいた通り、一旦停止せずに大きな道に進入しており、必ず交通ルールを守り、安全運転するようにドライバーを教育した。ご連絡いただいた方には安全運転管理者が電話を入れ、今後このようなことがないように、交通ルールを守り安全運転します、と謝罪する。</p>
<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・毎月のリフレッシュデーを実施にあたり、事前に参加の有無、内容、予算等記載したアンケートを毎回実施している ・その他、行事やお知らせ毎にアンケートを実施している</p>
<p>利用者アンケートの結果</p>	<p>・全員回収し、確認を取ってから実施に至っている</p>

<p>担当課の評価 (A、B、C)</p>	<p>A</p>	<p>迅速な苦情対応と、満足度の把握等、福祉施設としての役割を果たしている。</p>
---------------------------	----------	--

(5) 収支状況

<p>別添資料あり</p>

<p>担当課の評価 (A、B、C)</p>	<p>B</p>	<p>年度による収支に差があるが、運営に問題はないと考える。</p>
---------------------------	----------	------------------------------------

(6)その他

情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページ及びSNSにて公開している ・掲示物や配布物での公開している
個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・デジカメ、SDカード・・・施錠できる書庫にて管理 ・撮影後の写真・・・写真専用のUSBフラッシュメモリにて管理 写真として残さない ・職員個人のUSBフラッシュメモリ・・・持ち帰り厳禁 ・個人情報使用同意書・・・利用者及び家族の個人情報について、関係機関に必要な場合、最小限提供します、と署名・捺印を頂いている
防災対策等 緊急時への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・3日分の食料の備蓄、炊き出し用備品あり。 ・コロナウイルス感染症対策グッズ含め日用品の備蓄あり。 ・メール連絡網システムを導入し7月現在利用率48%が登録、利用中 ・開所日の緊急時には状況に応じて、五月丘小学校に避難するが、基本は各保護者宅へ連絡して、送迎やお迎えにきていただき引き渡す。 ・休日の災害時は自宅及び保護者の安否確認を電話やメール連絡網で一斉発信する。また緊急対応について、学園に来て様子確認する(管理者)自宅での利用者の様子確認を電話にて行う。 ・保護者にはくすのき学園以外に管理者の携帯電話をお伝えし、夜間や休日でも連絡がつくように共有している。 ・くすのき学園職員はLINEでグループを作成し、緊急時の連絡網として整備。 池田グループ長から本部に、くすのき学園管理者から障がい福祉課竹澤課長につながるよう、緊急連絡網を作成している。 ・池田グループ災害時緊急連絡網を作成している。 池田グループ長を中心に池田市内の各事業所の管理者や本部、理事長、能勢グループ長につながるよう、緊急連絡網を作成している
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練・・・年2回実施。

担当課の評価 (A、B、C)	A	個人情報管理、防災対策、緊急時対応等評価できる
-------------------	---	-------------------------

総合評価

指定管理者の
自己評価
(優・良・可・不可)



コメント

池田市より委託を受けて指定管理3期目

- ・支援学校卒業後の進路、くすのき学園卒業後の行先がない問題緩和のため、平成31年に五月丘1丁目から3丁目に建替移転、定員33名から60名に変更、障害のある方、障害者団体のニーズに寄り添った3階建て従来の多機能型事業所として運営。
- ・31年(令和元年)～令和3年までは定員45名でスタートしたが、利用希望のニーズに応じて、4年には50名、5年には最終定員60名に変更して対応。
- ・今までのサービス提供利用者はほぼ知的障害者だったが、この建替を機に重度心身障害者のご利用が始まる。
1階は重度心身障害者、2階は生活介護、3階は就労移行、就労継続支援B型、一部生活介護、とフロアを分けて、安全を大前提に安心して日中過ごしていただける環境を整備する。
- ・重度心身障害者ご利用に伴い、入浴サービスが始まる。週1～5日のご利用がある。
また、池田市内在宅の重度心身障害者向けの一般入浴の募集開始。受け入れに向けて職員配置等受入体制を整備。
安心してご利用していただくため開始に向けてのチャートを障がい福祉課と作成、池田市広報誌に載せていただきご案内する。
今後もご利用していただけるように、障がい福祉課や関係機関と協力体制を取っていく。
- ・くすのき学園の方針「働く」にあるように、ひとりひとりの気持ちに寄り添い、特性を理解することで、その人の居場所や役割、やりがいを感じられる、また、毎日楽しく登園できる環境整備に努めた。
個別にスケジュールを提示して見通しを持って活動してもらうことで、安定して活動に取り組み、毎日の登園につながったのではないかと考える。
- ・課題にとらわれず、ひとりひとりの強みに着目し、各事業所の目的に沿った意味のある活動を取り入れ、経験や自信を積み重ねることで「できる」が増え、自立につながる支援や訓練を図った。
B型事業所の利用者様には、出来高UP、作業量の目標設定の見える化を図り、達成できた方には年2回のボーナス時に表彰状と金一封をお渡しすることで自身でやりがいや自信を感じることに繋がった。
- ・保護者や関係機関と一緒に考えることを意識し、保護者に説明、了解いただいてから必要に応じて関係機関を交えてケース会議を実施している。5名の利用者様のケース会議を関係機関交えて実施した。(令和4年度)
- ・移転に伴い、地域とのつながりを重視、地域の中にある施設として地域住民と顔の見える関係になるため、挨拶の励行を図る。また、掲示板や活動を通して知ってもらう仕組みを整備する。
掲示板で発信したことで、活動のひとつ「アルミ缶プレス作業のアルミ缶回収」においてはアルミ缶置き場を設置、いつでも置いてもらえるように置き場所を作ることで、日々の活動が途切れることがないほどのアルミ缶をご持参いただき、利用者さんの工賃還元にご協力頂いている。さらに地域の民生委員さんの活動を渋谷高校の授業の一貫で活動を報告、高校生が今の自分たちにできること、と古タオルを学校で呼びかけ持参してくださった。
活動の輪が広がった。加えて、非常勤募集を掲示、お問い合わせをいただき採用につながった。
- ・同じ五月丘に移転と言えど新しい場所での事業展開、池田市に報告・連絡・相談をする、コミュニケーションを取ることを意識して助けをいただきながら運営できた5年でした。

担当課の総合評価
(優・良・可・不可)

良

コメント

福祉施設として、利用者の重度化への対応、取り組みや事業展開、専門性の向上、地域貢献等役割を果たしており、市の福祉施策の一端を担っている

評価委員会の評価
(優・良・可・不可)

良

コメント

・コロナ下で感染対策を実施していることは評価できるが、収支状況は法人からの繰越金があり、また、障がい者に合わせた処遇、地域とのかかわりを考慮されているが、日中活動としての環境整備の工夫と個人情報の管理の面で「良」の評価としたい。

31年度 くすのき学園事業報告

安心と安全の確保

- 4月1日より施設が移転、建物が変わり全てにおいて「安心安全」を最優先に考え、利用者が混乱なくスムーズに日常生活が送れるようにひとりひとりに合わせた活動場所の環境整備を実施したことで、毎日登園する、園内で活動できる等の変化があり、ひとりひとりが安定した日常生活を送ることができた。また、日々の様子を連絡ノートへの記載や電話での報告で保護者に安心してもらえるように努めた。
フロアが分かれたことで、各事業所の目的に沿った支援を提供することができた
- 関係機関が集まるケース会議を月1回の嘱託医訪問時の相談日に設け、みんなで考える体制を作り、共有を図り、本人を中心に置いた支援を行う
- 新しい施設での避難訓練や消防訓練を消防署立会いの下、実施した
2階、3階の利用者も非常階段を使用しての訓練だったが、混乱もなくスムーズに実施できた

専門性を高める

- 重複障害の利用者を受け入れるにあたって、てんかん基礎研修に参加、基礎から学び、専門性を高めていく
また、重複障害の通所施設の見学に行く予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症があり叶わず
- 自閉症支援においても、専門の講師を招き、3回勉強会を開催、スキルアップを図る

地域との協働と連携

- 「地域に根ざした施設」「地域になくてはならない施設」を目指し、新たな場所で新たな地域住民と「顔の見える関係づくり」が図れるよう、挨拶を励行に努めた。「草引きのボランティアがしたい」と新規に3名の近隣住民がボランティアに加わって下さり、園外の美化清掃にご協力いただいた
- 移転後初めての「あつまろう！くすのきへ！」を実施、多くの方に来園、参加いただき、大盛況に終えることができた。

令和2年度 池田市立くすのき学園 事業報告

人員確保と安定的な運営

4月に就労継続支援B型と生活介護に新園生を迎え、定員45名に対し現員41名になるため事業所ごとの定員を変更して受け入れ態勢を整備する。毎日登園できない利用者には、自宅に電話して保護者との連携を取り、ご本人の日中の居場所やくすのき学園での役割を明確に登園できる環境整備に努めた。また、「選ばれる就労移行支援事業所」になるため、2年間のスケジュールマニュアルを整備した。

「働く」の確保と環境整備

安心と安全を最優先に仕事ができる環境を整備する。一人ひとりきめ細やかなアセスメント、スケジュールの組み立て、評価を行い、将来の見通しややりがいを持てる活動を整備する。休業していたうどん屋「くすのき庵」を3月に再開した。障害の有無にかかわらず、うどんを通して地域の誰もが集える場として多くの人に愛されるお店を目指す。

地域との協働と連携

最新の入浴設備を活用して、在宅の重複障害や身体障害のある人の入浴サービスを池田市と連携して実施するため、受け入れ体制のマニュアルを作成する。移転して間もないため、地域住民と「顔の見える関係づくり」が図れるようあいさつを励行するとともに、門扉横でくすのき学園の菜園で採れた野菜や果実の販売を通して、知ってもらおう仕組みを作る。

令和3年度 池田市立くすのき学園 事業報告

人員確保と安定的な運営

コロナ禍での施設見学は難しい現状にはあるが、PTと連携しおひとりおひとりに対応できる機能回復や維持訓練を提供、またてんかん発作が起きた時のマニュアルが完成、自閉症支援においても、専門講師を招いて継続して勉強会を開催、ともに組織としておひとりおひとりを支援する体制に努める。

「選ばれる就労移行支援事業所」になるため、専門性を高めるとともにプログラムの策定と「強み」の可視化を図る。また、利用者獲得のために支援学校以外の新規開拓を実施、4年度入所者1名を獲得することができた。

「働く」の確保と環境整備

安心と安全を最優先に仕事ができる環境を整える。そのために、一人ひとりきめ細やかなアセスメント、スケジュールの組み立て、評価を行い、将来の見通しややりがいを持てる日中活動を整備する。

再開（令和3年3月）したうどん店「くすのき庵」、行政や法人内、地域の皆様のご協力のもと順調に売り上げを伸ばし、家賃や光熱水費、材料費も自力で支払えています。B型利用者の実習を再開、苦手意識のあった接客が好きとはなしをするまで自信を持って実習に取り組んでいる。

地域との協働と連携

在宅の重複障害や身体障害のある人の入浴サービスを池田市と連携し、発信を強化する。

コロナ禍でイベントやオープン施設の実施はできていないが、地域住民と「顔の見える関係づくり」が図れるよう、あいさつを励行するとともに、職員ひとりひとりが意識を持ち、地域との協働、連携を深めていく。また、掲示板の掲示物を立ち止まり見てくださる方も増えてきた。さらに掲示板を活用、知ってもらおう仕組みをつくる。

令和4年度 池田市立くすのき学園 事業報告

1. 人員確保と安定的な運営

コロナ感染症により研修会や施設見学に参加することは難しかったが、マニュアル等の整備に努めるとともに、自閉症支援においては専門講師を招き継続して勉強会を開催し、組織力UPを図った。「選ばれる就労移行支援事業所」になるため、プログラムの策定と「強み」の可視化を図った。利用者獲得のため各機関に出向きパンフレットやプログラムを配り、「知ってもらおう」から始め、新規利用者を獲得した。

5年度より最終定員60名に変更、現行移行6名、B型14名に加え生活介護40名に変更して新年度を迎えるため、環境整備に努めた。

2. 「働く」の確保と環境整備

夏場の外活動実施については、暑さ指数の確認、出発前と帰園時の検温、水分補給、作業終了後は車で迎えに行く等、安心と安全を最優先に仕事ができる環境を整えた。一人一人きめ細やかなアセスメント、スケジュールの組み立て、評価を行い、将来の見通しややりがいがある日中活動を整備した。

うどん屋「くすのき庵」で就労移行、就労継続支援B型の方の実習を固定して実施。利用者の実習の場・就労の場として機能させ、次のステージに進む重要な役割を担えるようにした。

3. 地域との協働と連携

入浴設備を活用しての在宅の重複障害や身体障害のある人の入浴サービスについては、4年度もご利用はなかった。引き続き池田市と連携してご利用してもらえる社会資源として発信していきたい。地域住民と「顔の見える関係づくり」が図れるよう、挨拶を励行した。年2回(8月、2月)開催のオープン施設や「あつまろう！くすのきへ！」のイベントなど感染症で実施できなかったが、施設のことを知ってもらい、地域との協働、連携を深めていくための工夫を重ねて行く。そのひとつが施設掲示板にくすのき新聞や非常勤求人募集のチラシを掲示した。通りがかりの地域住民が見てくださり応募、採用につながった。

障害福祉サービス事業くすのき学園区分 資金収支計算書

第一号第四様式

(自) 平成 31 年 4 月 1 日 (至) 令和 2 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異(A)-(B)	備考
収入	就労支援事業収入	10,362,000	13,408,180 Δ	3,046,180	
	受託作業収入	9,438,000	11,831,742 Δ	2,493,742	
	製造仕入作業収入	924,000	1,478,438 Δ	552,438	
	障害福祉サービス等事業収入	130,614,000	129,359,654	1,254,346	
	自立支援給付費収入	87,896,000	83,807,782	4,088,218	
	介護給付費収入	68,187,000	65,133,941	3,053,059	
	訓練等給付費収入	21,729,000	21,473,821	255,179	
	特定費用収入	2,718,000	2,695,464	22,536	
	その他の事業収入	40,000,000	40,056,428 Δ	56,428	
	受託事業収入(公費)	39,800,000	39,800,000	0	
	その他の事業収入	200,000	256,428 Δ	56,428	
	経常経費寄附金収入	165,000	282,018 Δ	117,018	
	受取利息配当金収入	0	4 Δ	4	
	その他の収入	249,000	287,282 Δ	38,282	
	受入研修費収入	160,000	215,000 Δ	55,000	
	利用者等外給食費収入	88,000	87,652	348	
	雑収入	1,000	4,610 Δ	3,610	
事業活動収入計 (1)	141,390,000	143,317,118 Δ	1,927,118		
事業活動による支出	人件費支出	108,822,000	108,486,134	335,866	
	職員給料支出	58,999,000	58,471,639	527,361	
	職員賞与支出	15,788,000	16,588,000 Δ	800,000	
	非常勤職員給与支出	21,187,000	20,542,475	644,525	
	退職給付支出	648,000	647,968	32	
	法定福利費支出	12,200,000	12,186,352	13,648	
	事業費支出	9,748,000	9,886,808	138,808	
	給食費支出	2,637,000	2,623,541	13,459	
	保健衛生費支出	280,000	398,389 Δ	118,389	
	教養娯楽費支出	680,000	516,123	163,877	
	日用品費支出	74,000	87,182 Δ	13,182	
	水道光熱費支出	2,352,000	2,375,981 Δ	23,981	
	消耗器具備品費支出	495,000	509,923 Δ	14,923	
	保険料支出	1,133,000	949,090	183,910	
	貸借料支出	1,090,000	1,085,434	4,566	
	車両費支出	995,000	1,040,185 Δ	45,185	
	雑支出	2,000	1,010	990	
	事務費支出	9,343,000	9,658,371 Δ	315,371	
	福利厚生費支出	200,000	230,820 Δ	30,820	
	旅費交通費支出	70,000	82,180 Δ	12,180	
	研修研究費支出	222,000	243,435 Δ	21,435	
	事務消耗品費支出	764,000	760,717	3,283	
	印刷製本費支出	0	6,254 Δ	6,254	
	修繕費支出	125,000	69,199	55,801	
	通信運搬費支出	300,000	355,355 Δ	55,355	
	広報費支出	7,000	3,488	3,512	
	業務委託費支出	4,930,000	5,490,937 Δ	560,937	
	手数料支出	78,000	36,089 Δ	41,911	
	賃借料支出	332,000	377,892 Δ	45,892	
	土地・建物賃借料支出	864,000	864,000	0	
	租税公課支出	30,000	27,323	2,677	
	保守料支出	1,136,000	808,502	327,498	
	渉外費支出	10,000	21,000 Δ	11,000	
	諸会費支出	184,000	184,000	0	
	雑支出	91,000	47,180	43,820	
	就労支援事業支出	10,362,000	11,933,377 Δ	1,571,377	
	就労支援事業費支出	10,362,000	11,933,377 Δ	1,571,377	
事業活動支出計 (2)	128,276,000	139,714,690 Δ	11,438,690		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	3,115,000	3,602,428 Δ	487,428		
支出	固定資産取得支出	500,000	499,824	176	
	器具及び備品取得支出	500,000	499,824	176	
	施設整備等支出計 (5)	500,000	499,824	176	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	0	176 Δ	176		
その他の活動	積立資産取崩収入	69,000	69,168 Δ	168	
	退職給付引当資産取崩収入	69,000	69,168 Δ	168	
	その他の活動収入計 (7)	69,000	69,168 Δ	168	
	積立資産支出	1,000,000	2,181,856 Δ	1,181,856	
	退職給付引当資産支出	1,000,000	981,856	18,144	
設備整備積立資産支出	0	1,200,000 Δ	1,200,000		
その他の活動支出計 (8)	1,000,000	2,181,856 Δ	1,181,856		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	0	2,112,688 Δ	2,112,688		

(単位：円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異(A)-(B)	備考
予備費支出 (10)	500,000		500,000	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	1,184,000	989,918	194,084	
前期末支払資金残高 (12)	19,894,000	19,894,489 Δ	489	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	21,078,000	20,884,885	193,815	

障害福祉サービス事業くすのき学園区分 資金収支計算書

第一号第四様式

(自) 令和 2 年 4 月 1 日 (至) 令和 3 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
収 入	就労支援事業収入	12,000,000	12,963,468 Δ	963,468	
	受託作業収入	7,000,000	11,842,422 Δ	4,842,422	
	製造仕入作業収入	5,000,000	1,321,046	3,678,954	
	障害福祉サービス等事業収入	157,741,000	149,419,267	8,321,733	
	自立支援給付費収入	106,893,000	98,513,345	8,379,655	
	介護給付費収入	82,558,000	74,291,697	8,266,303	
	訓練等給付費収入	24,335,000	24,221,648	113,352	
	特定費用収入	2,981,000	3,031,990 Δ	50,990	
	その他の事業収入	47,887,000	47,873,982 Δ	6,832	
	補助金事業収入(公費)	757,000	757,000	0	
	受託事業収入(公費)	47,000,000	47,000,000	0	
	その他の事業収入	110,000	116,932 Δ	6,932	
	経常経費寄附金収入	0	60,000 Δ	60,000	
	受取利息配当金収入	0	133 Δ	133	
	その他の収入	35,000	244,609 Δ	209,609	
	受入研修費収入	15,000	0	15,000	
	利用者等外給食費収入	11,000	15,626 Δ	4,626	
	雑収入	9,000	228,883 Δ	219,883	
	事業活動収入計 (1)	169,776,000	162,687,477	7,088,523	
	支 出	人件費支出	122,419,000	121,114,618	1,304,382
職員給料支出		62,169,000	62,101,181	67,819	
職員賞与支出		18,804,000	18,803,530	470	
非常勤職員給与支出		27,689,000	25,911,802	1,777,198	
退職給付支出		294,000	873,082 Δ	579,082	
法定福利費支出		13,463,000	13,425,073	37,927	
事業費支出		12,870,000	12,241,057	428,943	
給食費支出		2,950,000	2,895,079	54,921	
保健衛生費支出		1,500,000	1,697,277 Δ	197,277	
教養娯楽費支出		75,000	63,101	11,899	
日用品費支出		100,000	102,285 Δ	2,285	
水道光熱費支出		2,650,000	2,653,619 Δ	3,619	
燃料費支出		5,000	2,200	2,800	
消耗器具備品費支出		1,120,000	897,319	222,681	
保険料支出		1,250,000	1,066,750	183,250	
賃借料支出		1,200,000	1,070,400	129,600	
車両費支出		1,800,000	1,776,450	23,550	
雑支出		20,000	16,577	3,423	
事務費支出		10,871,000	10,584,911	286,089	
福利厚生費支出		180,000	236,170 Δ	56,170	
職員被服費支出		0	16,524 Δ	16,524	
旅費交通費支出		50,000	20,060	29,940	
研修研究費支出		284,000	225,140	58,860	
事務消耗品費支出		500,000	633,195 Δ	133,195	
印刷製本費支出		7,000	6,989	11	
修繕費支出		100,000	142,712 Δ	42,712	
通信運搬費支出		300,000	329,888 Δ	29,888	
業務委託費支出		6,500,000	6,058,584	441,416	
手数料支出		350,000	304,972	45,028	
賃借料支出		980,000	993,228 Δ	13,228	
土地・建物賃借料支出		864,000	864,000	0	
租税公課支出		50,000	89,028 Δ	39,028	
保守料支出		1,050,000	1,037,589	12,411	
渉外費支出		11,000	11,000	0	
諸会費支出		177,000	177,000	0	
雑支出		68,000	89,052 Δ	21,052	
就労支援事業支出		12,000,000	12,791,620 Δ	791,620	
就労支援事業費支出	12,000,000	12,791,620 Δ	791,620		
事業活動支出計 (2)	157,960,000	156,732,208	1,227,792		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	11,816,000	5,955,271	5,860,729		
施 設 取 得 支 出	固定資産取得支出	1,630,000	2,287,925 Δ	657,925	
	建物付属設備取得支出	0	202,125	202,125	
	器具及び備品取得支出	1,630,000	2,085,800 Δ	455,800	
	施設整備等支出計 (5)	1,630,000	2,287,925 Δ	657,925	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	0	657,925 Δ	657,925		
そ の 他 の 活 動 収 入	積立資産取崩収入	2,644,000	2,644,532 Δ	532	
	退職給付引当資産取崩収入	294,000	294,532 Δ	532	
	設備整備積立資産取崩収入	2,350,000	2,350,000	0	
	その他の活動収入計 (7)	2,644,000	2,644,532 Δ	532	

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
そ の 上 の 活 動	積立資産支出	11,000,000	6,179,304	4,820,696	
	退職給付引当資産支出	1,000,000	1,179,304 Δ	179,304	
	施設整備積立資産支出	10,000,000	5,000,000	5,000,000	
	その他の活動による支出	0	26,000 Δ	26,000	
	差入保証金支出	0	26,000 Δ	26,000	
	その他の活動支出計 (3)	11,000,000	6,205,304	4,794,696	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	Δ 8,356,000	Δ 3,560,772 Δ	4,795,228	
予備費支出 (10)	500,000		500,000		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	1,330,000	126,574	1,203,426		
前期末支払資金残高 (12)	20,884,000	20,884,385 Δ	385		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	22,214,000	21,010,959	1,203,041		

障害福祉サービス事業くすのき学園区分 資金収支計算書

第一号第四様式

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位:円)

期 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
収 入	就労支援事業収入	15,854,000	15,338,065	315,935	
	受託作業収入	12,340,000	12,152,155	187,845	
	製造仕入作業収入	3,314,000	3,185,910	128,090	
	障害福祉サービス等事業収入	154,976,000	153,545,635	1,430,365	
	自立支援給付費収入	104,741,000	103,044,706	1,696,294	
	介護給付費収入	78,233,000	76,936,020	1,396,980	
	訓練等給付費収入	26,408,000	26,108,686	299,314	
	特定費用収入	3,044,000	2,920,319	123,681	
	その他の事業収入	47,191,000	47,580,610 Δ	389,610	
	補助金事業収入(公費)	34,000	394,936 Δ	360,936	
	受託事業収入(公費)	47,000,000	47,000,000	0	
	その他の事業収入	157,000	185,674 Δ	28,674	
	経営経費寄附金収入	250,000	250,000 Δ	10,000	
	受取利息配当金収入	0	22 Δ	22	
	その他の収入	62,000	69,882 Δ	7,882	
	受入研修費収入	0	20,000 Δ	20,000	
	利用者等外給食費収入	35,000	28,474	6,526	
雑収入	27,000	21,408	5,592		
事業活動収入計 (1)	170,942,000	169,213,604	1,728,396		
支 出	人件費支出	139,463,000	139,150,974	302,026	
	職員給料支出	69,792,000	70,145,335 Δ	353,335	
	職員賞与支出	21,133,000	21,296,222 Δ	103,222	
	非常勤職員給与支出	33,030,000	31,951,187	1,138,813	
	退職給付支出	579,000	585,100 Δ	6,100	
	法定福利費支出	14,809,000	15,133,130 Δ	374,130	
	事業費支出	11,253,000	11,405,758 Δ	152,758	
	給食費支出	2,981,000	2,889,793	91,207	
	保健衛生費支出	987,000	1,024,344 Δ	37,344	
	教養娯楽費支出	67,000	63,381	3,619	
	日用品費支出	88,000	121,293 Δ	33,293	
	水道光熱費支出	2,734,000	2,877,410 Δ	143,410	
	燃料費支出	3,000	2,200	800	
	消耗器具備品費支出	641,000	638,524 Δ	42,524	
	保険料支出	1,168,000	1,176,507 Δ	8,507	
	賃借料支出	1,828,000	1,829,288 Δ	1,288	
	車両費支出	1,250,000	1,233,197	16,803	
	雑支出	6,000	4,871	1,129	
	事務費支出	12,057,000	11,561,502	395,398	
	福利厚生費支出	478,000	423,090	54,910	
	旅費交通費支出	30,000	38,450 Δ	8,450	
	研修研究費支出	188,000	163,113	22,887	
	事務消耗品費支出	2,307,000	2,036,876	270,124	
	修繕費支出	128,000	233,829 Δ	105,829	
	通信運搬費支出	343,000	372,287 Δ	29,287	
	広報費支出	0	7,150 Δ	7,150	
	業務委託費支出	6,185,000	5,997,433	187,567	
	手数料支出	100,000	98,214	1,786	
	賃借料支出	247,000	239,736	7,264	
	土地・建物賃借料支出	864,000	864,000	0	
	租税公課支出	80,000	60,353 Δ	353	
	保守料支出	975,000	974,437	563	
	諸会費支出	151,000	151,000	0	
雑支出	3,000	1,634	1,366		
就労支援事業支出	15,854,000	14,921,834	732,166		
就労支援事業費支出	15,654,000	14,921,834	732,166		
事業活動支出計 (2)	178,427,000	177,150,168	1,276,832		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	Δ 7,485,000	Δ 7,936,564	451,564		
施 設 整 備 等 に 関 する 支 出	固定資産取得支出	4,863,000	3,078,330	1,784,670	
	車両運搬具取得支出	3,000,000	2,935,330	64,670	
	ソフトウェア取得支出	1,863,000	143,000	1,720,000	
施設整備等支出計 (5)	4,863,000	3,078,330	1,784,670		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	Δ 4,863,000	Δ 3,078,330	1,784,670		
そ の 他 の 活 動 支 出	積立資産取崩収入	5,000,000	5,008,600 Δ	6,600	
	退職給付引当資産取崩収入	0	6,600 Δ	6,600	
	施設整備積立資産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0	
	拠点区分間繰入金収入	15,000,000	13,000,000	0	
	その他の活動収入計 (7)	20,000,000	20,008,600 Δ	6,600	
支 出	積立資産支出	1,180,000	1,287,584 Δ	107,584	
	退職給付引当資産支出	1,180,000	1,287,584 Δ	107,584	

10 社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団

(単位：円)

款 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
その 他の 取 活 支 助	その他の活動支出計 (8)	1,180,000	1,287,584 Δ	107,584	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	18,820,000	18,719,016	100,984	
	予備費支出 (10)	500,000	500,000	0	
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	5,972,000	7,704,122 Δ	1,732,122	
前期末支払資金残高 (12)		21,010,000	21,010,959 Δ	959	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		26,982,000	28,715,081 Δ	1,733,081	

事業所名 _____

事業・拠点 [3009:障害福祉池田市くすのき学園]

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

障害福祉池田市くすのき学園拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業収入	0183 就労支援事業収入	12,140,000	15,030,698	-2,890,698
	8400 受託作業収入	9,640,000	12,210,279	-2,570,279
	8401 製造仕入作業収入	2,500,000	2,820,419	-320,419
	0184 障害福祉サービス等事業収入	166,257,000	170,949,726	-4,692,726
	0185 自立支援給付費収入	115,010,000	119,145,633	-4,135,633
	4261 介護給付費収入	88,298,000	92,412,768	-4,114,768
	4263 訓練等給付費収入	26,712,000	26,732,865	-20,865
	4301 特定費用収入	3,147,000	3,193,665	-46,665
	0187 その他の事業収入	48,100,000	48,610,428	-510,428
	4311 補助金事業収入(公費)	900,000	1,367,970	-467,970
	4312 受託事業収入(公費)	47,000,000	47,000,000	
	4313 その他の事業収入	200,000	242,458	-42,458
	0201 その他の収入	250,000	268,700	-18,700
	4491 受入研修費収入	80,000	84,750	-4,750
	4492 利用者等外給食費収入	40,000	50,476	-10,476
	4493 雑収入	130,000	133,474	-3,474
	事業活動収入計(1)		178,647,000	186,249,124
事業活動に支える	0129 人件費支出	148,586,000	148,250,768	335,232
	0422 職員給与支出	76,660,000	76,601,928	58,072
	4602 職員給料支出	76,660,000	76,601,928	58,072
	0423 職員賞与支出	21,919,000	21,919,158	-158
	4603 職員賞与支出	21,919,000	21,919,158	-158
	0425 非常勤職員給与支出	31,937,000	31,768,294	168,706
	4605 非常勤職員給与支出	31,937,000	31,182,694	754,306
	4606 嘱託医報酬支出		585,600	-585,600
	0428 退職給付支出	810,000	810,058	-58
	4608 全国退職共済費支出		623,000	-623,000
	4609 退職金支出	810,000	187,058	622,942
	0411 法定福利費支出	17,260,000	17,151,330	108,670
	4611 法定福利費支出	17,260,000	17,151,330	108,670
	0130 事業費支出	12,504,000	12,230,935	273,065
	4701 給食費支出	3,250,000	3,262,157	-12,157
	4702 保健衛生費支出	1,085,000	1,051,407	33,593
	4705 教養娯楽費支出	91,000	78,213	12,787
	4706 日用品費支出	155,000	179,351	-24,351
	4708 水道光熱費支出	3,500,000	3,281,876	218,124
	4710 消耗器具備品費支出	650,000	722,930	-72,930
	4711 保険料支出	1,200,000	1,146,232	53,768
4712 賃借料支出	1,263,000	1,265,100	-2,100	
4716 車輛費支出	1,300,000	1,239,063	60,937	
4719 雑支出	10,000	4,606	5,394	
0131 事務費支出	11,698,000	11,269,339	428,661	
4801 福利厚生費支出	500,000	553,722	-53,722	
4803 旅費交通費支出	85,000	95,030	-10,030	
4804 研修研究費支出	300,000	311,952	-11,952	
4805 事務消耗品費支出	631,000	663,471	-32,471	
4806 印刷製本費支出		4,290	-4,290	
4809 修繕費支出	1,000,000	932,205	67,795	
4810 通信運搬費支出	382,000	389,966	-7,966	
4813 業務委託費支出	5,500,000	5,154,658	345,342	

事業所名

事業・拠点 [3009:障害福祉池田市くすのき学園]

第一号第四様式(第十七条第四項関係)

障害福祉池田市くすのき学園拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
支	4814 手数料支出	300,000	210,905	89,095	
	4816 賃借料支出	600,000	578,236	21,764	
	4817 土地・建物賃借料支出	864,000	864,000		
	4818 租税公課支出	150,000	167,203	-17,203	
	4819 保守料支出	1,156,000	1,144,454	11,546	
	4820 渉外費支出	10,000	11,680	-1,680	
	4821 諸会費支出	200,000	187,100	12,900	
	4829 雑支出	20,000	467	19,533	
	0132 就労支援事業支出	12,140,000	14,601,381	-2,461,381	
	0133 就労支援事業販売原価支出	12,140,000	14,601,381	-2,461,381	
	0799 就労支援事業製造原価支出	9,640,000	14,601,381	-4,961,381	
	0800 就労支援事業仕入支出	2,500,000		2,500,000	
	0138 その他の支出		1,231	-1,231	
	4932 雑支出		1,231	-1,231	
事業活動支出計(2)		184,928,000	186,353,654	-1,425,654	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-6,281,000	-104,530	-6,176,470	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支				
	0144 固定資産取得支出	600,000		600,000	
5219 器具及び備品取得支出	600,000		600,000		
施設整備等支出計(5)		600,000		600,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-600,000		-600,000	
その他の活動による収支	収入				
	0214 積立資産取崩収入	187,000	191,178	-4,178	
	5341 退職給付引当資産取崩収入	187,000	191,178	-4,178	
	0222 拠点区分間繰入金収入	3,000,000	3,000,000		
	その他の活動収入計(7)		3,187,000	3,191,178	-4,178
	支				
	0152 積立資産支出	1,428,000	1,432,504	-4,504	
5531 退職給付引当資産支出	1,428,000	1,432,504	-4,504		
その他の活動支出計(8)		1,428,000	1,432,504	-4,504	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		1,759,000	1,758,674	326	
予備費支出(10)		500,000	—	500,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-5,622,000	1,654,144	-7,276,144	
前期末支払資金残高(12)		28,715,000	28,715,081	-81	
当期末支払資金残高(11)+(12)		23,093,000	30,369,225	-7,276,225	